

記念日を奏でる、洋菓子店の物語

「Maison Jouer」

素材が織りなすハーモニー ケーキづくりの原点

ひばりが丘駅南口から徒歩3分、多くの商店が立ち並ぶ通り沿いにMaison Jouer（メゾン・ジュエ）がある。ケーキや焼き菓子を中心に、贈り物や記念日、そして日常のひとつを彩る洋菓子店として、令和7年5月にオープンした。

オーナーシェフの本澤聡氏は、ウエディングケーキや洋菓子の製作に20年以上携わり、技術とマネジメントを磨いてきた。令和4年には、フランスの伝統菓子ガレット・デ・ロワのコンクールに出場し、日本大会で優勝。翌年にはフランス大会に出場した実績がある。また、バナナを素材としたショコラパッションバナナは当店の代表作で、平成28年ジャパンケーキショーで会長賞を受賞した逸品だ。「パティシエは、素材や生産者の力を引き出す指揮者のような存在。店名のJouer（奏でる）には、素材の魅力を最大限に活かし、記憶に残る味のハーモニーを生み出したいという想いが込められている。」と本澤氏は語る。

ひばりが丘の地で HIBARIDO から始まった 創業ストーリー

約2年半かけて物件を探し続け、街の雰囲気と人の温かさに惹かれて選んだのがひ



ガレット・デ・ロワ

ショコラパッションバナナ



店内の焼き菓子



代表：本澤 聡

ばりが丘である。令和5年には、西東京市が立ち上げに関わった創業サポート施設HIBARIDO（ひばりどう）でプレ営業を実施。実際の販売や顧客との対話を通じて、オープンに向けたテストマーケティングを行い、商品やブランドの方向性を磨き上げた。また、同時期に創業準備を進めていた他の事業者とは現在も交流があり、地域との連携も育まれている。

想いをかたちにする 記念日のスイーツ

定番洋菓子のほか、季節のフルーツを使ったケーキや、オーダーメイドのアイシングクッキーなど、晴れの日に寄り添う一点物のスイーツづくりも得意としている。例えば、飛行機が好きなお子さまのために、チョコレート製の飛行機をあしらったケーキを製作したり、結婚式の引き菓子としてイニシャル入りのアイシングクッキーを製作するなど、一つひとつの依頼に込められた想いを大切にしている。

今後は、パフェやコーヒーなどを提供するイートイン併設店舗の展開を視野に入れている。美味しいものを食べたとき、人は自然と笑顔になる。その笑顔を届けたいという想いとともに、Maison Jouer はこれからも記念日を奏でる洋菓子店として、やさしい時間とともに地域に寄り添い続けていく。

メゾン・ジュエ

Maison Jouer

代表：本澤 聡（ほんざわ さとし）

住所：西東京市谷戸町3丁目27-24

営業：11:00～19:00

定休日：火・水曜日（臨時休業あり）

https://www.instagram.com/maison_jouer

西東京市の「技」企業を紹介

誠実な仕事で暮らしを支える

水道のプロ集団「瀬川工業所」

創業70年、生活インフラを支える地域の担い手

昭和29年創業の瀬川工業所は、西東京市を拠点に水道工事・給排水工事・土木工事を手がける。3代目の加藤幸恵氏は平成15年から代表を務め、東京都水道局との年間契約に基づく緊急対応や、学校・公共施設の耐震補強工事、給排水工事などの公共工事を通じて、地域の生活を支えながら、地元のみならず商店街で会長も務め、地域とのつながりも大切にしている。

70年の間に工法は大きく進化したが、「誠実な仕事を届ける」信念は今も変わらず受け継いでいる。

祖父の創業当時は井戸屋で、「大正から昭和にかけて都内の井戸を多数手がけていた」と祖父が自慢げに話していたのを覚えているそうだ。

社員が誇りをもって 働くことで得られる信頼

この信念を支えるのが社員一人ひとりの存在だ。加藤代表は「社員に恵まれている。残業を抑え、給料を上げていきたい。」と語り、社員が誇りを持って働ける環境づくりに力を注いでいる。「瀬川さんなら間違いない。」と取引先からも信頼を得ており、社員も誇りを持って働いている。

工事部長の島元有美氏は、東京都水道局の調査事業を通じて当社と出会い、入社。現場監督へと成長し、3児の母として家庭と両



職場の様子



左：工事部長 平良 圭一 右：工事部長 島元 有美

立っている。島元氏は「もっと女性にもこの業界に関心を持ってほしい。もちろん男性にも来てほしい。」と幅広い人材の活躍を願っている。

インフラを守り 未来へつなぐ使命

水道管の老朽化は全国的な課題であり、更新・耐震工事に日々取り組んでいる。目で見ることでできない地中のインフラ工事では、事前の図面の読み解き、積算といった準備の精度が工事の成否を左右する。加藤代表は「落札前に疑問を出し切ることが重要。公共工事では後からの変更が難しい。」と語り、丁寧な準備を重視している。

また、「リモデルトイレ」を、市内の小学校に寄贈し、西東京市から感謝状が贈られている。「リモデルトイレ」とは、既存の和便器の排水管を活かし、床を壊さずに最短2日間で洋式化する工法だ。「明るく、きれいなトイレを子どもたちに使ってほしい。」という加藤代表の想いが形になった。これからは瀬川工業所は、誠実な仕事を通じて、地域のインフラを未来に向けて支え続けていく。

有限会社瀬川工業所

代表：加藤 幸恵（かとう さちえ）

住所：西東京市ひばりが丘 1-3-11

電話番号：042-421-0579

営業時間：8:00～18:00

定休日：日曜日、祝日

<https://www.segawa-corp.com>

西東京創業支援・経営革新相談センター

西東京創業カフェのご案内

創業をお考えの方や創業後間もない方が抱える課題について、グループディスカッションでの検討や、情報交換を通じて交流を深める目的で開催します。西東京市の創業に関する支援制度や国や東京都などの補助金の紹介も行います。ぜひご参加をお待ちしています。

日時	令和8年2月6日（金）14:00～15:30
場所	西東京商工会 西東京市南町5-6-8 イングビル 3F
対象	創業を考えている方、創業に関心がある方、創業間もない方
講師	西東京創業支援・経営革新相談センター 創業支援マネージャー浅川絢子氏
申込方法	ホームページ、またはお電話にてお申込みください。

定員
10名
(先着受付順)

参加費
無料



☎042-461-6611
<http://www.nishitokyo-sougyou.net>

西東京市 産業ニュース匠ナビ

発行日：令和8年1月15日
発行：西東京市
企画：RIPPLE 西東京
協力：西東京商工会・多摩信用金庫



お問合せ先
産業振興課

☎042-420-2819